

この講義ノートは、九州大学 応用力学研究所 柏木 正 教授の解説

『 *Techno Marine* (日本造船学会誌) 第845号, 1999年11月号  
特集: よくわかる海事流体力学  
第6章 船舶・海洋構造物の動揺を計算する 』

の, 2次元浮体の動揺理論の部分を, *Heave* モードに限定して, 詳述したものが骨子となっている. 解説に際しては, *Kochin* 関数の定義を, 定常造波で云う振幅関数に相当するもので記述したことと, *Radiation* ポテンシャルの規格化を, *Diffraction* ポテンシャルに準じた形式で行なった. 結果, 途中の係数とかが異なっているのはその為である. また, 講義の進行上必要と思われたので, 非定常な自由表面条件と, 造波グリーン関数の具体的な導出法と計算法について, 附録に纏めておいた.

堀 勉  
Nov. 2001